

父と母を敬い、従いなさい エペソ 6章1節から3節 (3)

JD 牧師

今日の聖書箇所は、「エペソ人への手紙 6章1節から3節」です。可能でしたら、ご起立くださって、私の朗読についてきてください。ご無理なら、座ったままでも大丈夫です。1節から、使徒パウロは、聖霊によってこう書いています。

—エペソ 6:1—

子どもたちよ、主にあって両親に従いなさい。...

もう一度読みたいと思います。(笑) お付き合いくださいね。

—エペソ 6:1—

子どもたちよ、主にあって両親に従いなさい。...

これは大きな声で、子どもミニストリーに聞こえるように言いたいですよね。

...これは正しい事だからです。

—エペソ 6:2—

「あなたの父と母を敬え。」これは約束を伴う第一の戒めです。

—エペソ 6:3—

「そうすれば、あなたは幸せになり、その土地であなたの日々は長く続く」という約束です。

一緒に祈りましょう。愛する天のお父様。今日のこの御言葉箇所をありがとうございます。今日、今からあなたの御言葉に入る前に、私たちは容易く認めます。聖霊の導きで、御言葉を理解する目を開いて下さらなければ、共に御言葉で過ごす時間を無駄にする可能性があります。私たち誰一人、それを望んでいません。主よ、今日私たちが共にあなたの御言葉を学ぶ時、あなただけが御出来になる通り、いつもして下さるように、私たちの人生に語ってください。主よ、感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。ご着席下さい。ありがとうございます。主が私に、今週は、子どもが父と母に従い、敬う事についての初めの3節だけを取り扱うように、仰っていると感じました。その理由は、4節で両親、特に父親の責任について、より書かれているからです。興味深い事に、父親は何よりもまず、子どもが従うよう訓練し、指導しなければなりません。言い換えると、父と母にある責務とは、主にあって従う事についてを子どもに指導する事です。なので来週は、御心なら、4節だけを扱う事に決めました。何故なら、今日見ていく御言葉と、とても密接に繋がっているからです。皆さんも分かると思います。この2つの事が、子育てという最も難しい仕事に、関係しています。言わねばいけませんけど、私は事業を2つ興しました。会社を2つ経営したことがあり、教会を2つ始め、牧師を務めました。これら全部をひっくめても、少なくとも私にとっては、もしかしたら私だけかもしれませんが、3人の子どもの子育てほど、難しいものはありません。子育てするのは私の特権であり、もちろん彼らをとっても愛しています。しかし子育てについて言うと、こんな風に言わせてください。子育ては気の弱い人がすることじゃないです。最も難しい仕事です。言うまでもないことかもしれませんが、このことは以前にも話しましたが、聖霊の御力なしでは、主において子どもたちを育てる事、主の事柄において彼らを訓練していく事に、希望はありません。さて御言葉に入る前に、少しだけ背景を見ていきたいと思います。そうする事でこの3節を見ていく上で、より良く理解が出来ると思います。私たちはエペソを書として知っていますが、しかしながらこの書は、使徒パウロが聖霊の御力によって実際に書いた手紙です。そしてこの時代、文字通り実際の手紙が、文字通りエペソに実在した教会へ送られました。この手紙は、西暦61年か62年あたりに書かれた

と信じられています。そして何が本当に興味深いかという、パウロは投獄されている間に、聖霊の導きよってこの手紙を書きました。彼はローマの獄屋にいて、この手紙を書き、エペソの教会に送ったのです。そこでこの手紙を受けとった時、この教会牧師は、教会内で大声読んだのです。つまり、この手紙を受け取った時、子どもたちが実際に教会に居て、その時に手紙が読まれました。そうでなければパウロは、主であって両親に従う事は良い事だと、子どもミニストリーのリーダーに言ったでしょう。そうではなく、これは全ての教会向けです。なぜ私はこれを持ちだしたのか？ お付き合い下さって、聞いてほしいのは、分かち合いたい基本的原則です。それは、家族が共に礼拝すること。共に、神の御言葉の教えの下で聞く事です。確かに教会の子どもミニストリーは、必要で、それによって年齢相応の学びが出来ます。しかしながら、繰り返しますが、これについての私の思いを、聞いてほしいのです。特に、礼拝に来ていない若者たちに、害を及ぼすと私は考えます。大きな害を及ぼすと思います。その理由を説明したいと思います。私は、これが若者が年を取ったときに教会から離れる主な理由の1つだと考えます。なぜなら、私たちが彼らに言ってきたのは...もう一度言いますが、特に成長した若者、私たちが、彼らに言ってきたことは、「あなたたちは、あっちの同世代の集まりに行きなさい。私たちはここでやります。」

私たちがしているのは、共に神を礼拝することの豊かさや祝福を、彼らから奪ってきたのです。皆さんが手を挙げて主を賛美する姿を、彼らが見る事は良い事なのです。素晴らしい事です。そして彼らは、神の御言葉の教えの下で座って聞き、そこには躍動感があります。御霊の領域の霊的躍動があります。説教者や牧師や教師が語り、そこにはびったり語られる言葉がある。そして聖霊がその言葉を用いられます。神のことばが、空しく帰って来ることはないからです。(イザヤ 55:11 参照)

言い方はマズいですが、聖霊が一人ひとりの心をご覧になって、語られた御言葉を、その必要に合わせて、良いトーンに調律してください。私には皆さんの心は見えません。皆さんの何人かは思ってますね？ 「心が見えない事は良い事だ。」あなたにも私の心は見えませんよ。私たちは、外見だけを見ますよね？ 外見でも、皆さんは素晴らしいですよ。言っておきますね。しかし神は心をご覧になります。神は全ての人の心の必要を知っておられ、神だけが御出来になられる通り、聖霊の御力によって神聖な御言葉を通して、神の民に語られます。ある人が非常に上手に表現しました。「神の聖霊は、神の聖なる人々に、神の聖なる御言葉を通して働かれる。」これが今日ここで、教会で起こっている躍動感です。なぜ私たちは、子どもたちもその一員になってほしいと思わないのでしょうか？ 私は、毎月初めの聖餐式を考えます。私はいつも聖餐式を楽しみにしています。とても大切です。ところで、毎月初めの日曜日まで待たなくてもいいですよ。種無しパンと葡萄ジュースを買って、皆さんの家で家族と共に聖餐の時をもち、主を思い、主がして下さった事を、思い起こす事を強くお勧めしたいと思います。私たちがこれをする時、主にこの事を捧げている事になり、、、、もっとよい表現が出来ると良いのですが、私の考えを表現すると、これをする事は、主に許可を与えるという事なのです。私たちの家族の中心で聖霊が働かれる余地をお与えるのです。再度、特に青年たちがこの聖霊の躍動感の一部になる事。これはとても大切です。何が悲しいかという、これに関しての調査があって、もうこれ以上我慢出来ないと思ったのですが、この統計がとても嘆かわしいのです。ある情報によると、「教会で育った10代~30代の59%は、もはや教会と共に何かをしたいと思わない。」それで十分悪くなければ、「こんにちアメリカ合衆国で最も多い世代は10代から30代である。」

私たちは自分自身に、こういう質問を投げかけるのが良いと思います。

「なぜ彼らは成長した時、自分は教会の一部だと感じないのか？」私たちが彼らを教会生活に加えなか

ったからです。私は子どもの頃、大変退屈だったのを覚えています。私の両親が、私を無理やり/Drug me 教会へ連れて行った時のことで、両親が私にドラッグ/drug me を打った、とは言っていないからね。彼らはそうすべきだったかも知れませんが、分かりません。でも両親は、より良く言えば、私を教会へ無理に連れて行きました。そして、スーツを着て硬い椅子に座りました。昔はこうだったんです。そして襟が窮屈で、ポリエステルが痒くて、それが一番不快でした。皆さんも想像がつくと思いますけど、早く終わってほしかった。そしていつも私は教会へ行く時になると、教会へ行かなくて済む言い訳に、人類で最も珍しい病気を思いつくのです。そして教会が終わると、ご存知の通り、私はすぐ奇跡的に回復します。そして教会で座っている時は、”牧師が何度 the の単語を言うかを数える“、というような賢いアイデアが浮かびます。そうすると、礼拝中起きていられます。若者たち「本当？何回 the を言うの？」という顔で見えていますね。私が言いたいのは、とにかく聞いているべきだったという事。でもポイントは、神のことは虚しく帰ってくる事はないのです。私が19歳でイエス・キリストの救いに至った時、神が私の証人ですが、私は幼い頃から聞いていた御言葉を覚えていたのです。何が起こったかと言うと、神の御言葉の種が植えられ、発芽し、あとになって芽が出て成長するのです。すると人生の後になって、、、この事についてもっと話すと、、、ちょっと先走ってしまっています。メッセージに留まって、進行中の説教に戻すべきですね。私たちがどのように、子どもたちに行くべき道へと訓練するのか、また話しましょう。「箴言」があらゆる親を顧みさせます。「ああなんということ。彼らが主のもとに戻ってくるのは、彼らが年を取るまで待たなければならない。」いいえ違います。もう一度話しましょう。教会生活に、彼らを加えなかった事が、私が信じる主な理由の一つですが、でも唯一の理由ではありません。私は先週この事について考えていました。御座に懇願し、主に尋ね求めていると、教会と共に、もしくは神のことについて、何もしたくないと思っているこの世代に、私が信じる別の理由になりうる事を、主は思い出させて下さいました。私にとって、言わば、時代のしるしです。それは私たちが終わりの時にいるという、預言的なしるしです。これはパウロが、「第二テモテの手紙3章」に書いています。1節から4節まで読みます。彼が言っている事を、このリストを聞いてください。

—I テモテ 3:1—

終わりの日には困難な時代が来ることを、承知していなさい。

翻訳によっては、「終わりの日は危険な時代」と訳されています。彼が言っているのは、「これが終わりの日の特徴。これが終わりの日のしるし。」そして彼は、終わりの日、終わりの時代に起こる事の19の特徴、19のしるしのリストを挙げます。私が読みますので、心に留めてください。これは世に対してではなく、教会に対してです。パウロはこれを信者、クリスチャンに向けて書いているのです。このリストを聞いてください。

—I テモテ 3:2—

そのときに人々は、自分だけを愛し、...

私がここで止めたのは、考えると、私たちは「セルフイー/自撮りの時代」に生きていますよね？ ごめんなさい、でも、あーこの話をする時間がありませんね。これもまた別の機会の別の学びです。また機会をみて取り上げます。

...そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、...

そしてこれ。さあ言いますよ。

...親に従わず、...

「何て？」ええ、言い換えると、終わりの時代の終わりの日のしるしは、教会の子どもたちが、両親に従わなくなる。リストは続きます。

...恩知らずで、...

おやおや。マジですか？ 感謝がない？

...汚れた者になります。

(※英語では without love/愛が無い)

これは先週、アガペーの愛の文脈で話をした時の、興味深い言葉で、しかしこの愛は、ギリシャ語でストルゲです。ご存知、ギリシャ語の愛/love には 4 種の単語があります。英語は 1 種です。(ギリシャ語は) storge/ストルゲ、agape/アガペー、philia/フィリア、eros/エロス。

ここでの愛は、子どもが親に対し、親が子どもに対して持つ自然な愛情です。彼はそのことについて言っていて、「汚れた者」、言い換えれば、終わりの時のしるしとして、家族に自然な愛情が欠如するのです。

—I テモテ 3:3—

また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、

—I テモテ 3:4—

人を裏切り、...

皆さんに、神の御言葉に時間を取るようお勧めしたいと思います。これらの単語を見てください。これらの言葉は、私たちが日常的に使う語彙ではないからです。あなたが最後に「ああ、あれは裏切りだ！」と言ったのはいつですか？

...向こう見ずで、...

(これはどうです？ →) 思い上がり、...

すべては私〜♪ 私たちが歌い礼拝し、主を賛美する時、聖霊が私の心を探って仰います。「本当に信じていますか？ すべては主よ、あなたです♪と。」時に、「すべてはあなたです。主よ。」ではないかもしれません。2人の息子と娘に幼少期、教えた歌があります。特に、息子たちには教える必要がありました。その歌はこんな感じです。

♪♪ 世の中は、あなたを中心に回っているんじゃない。人生は公平ではないんだ。♪♪ ボンボンボン♪
♪

惹きつけられる歌ですよ？ すみません。皆さんのトラウマにするつもりはなくて、そして最後にパウロはこう言います。「...神よりも快樂を愛する者になり、」これが終わりの日のしるしです。

この事を言い訳にするわけでありませんが、しかしそれはある意味、少なくとも説明をしています。どうか誰も希望を手放したり、あきらめ出さないようお願いします。希望を失う必要はありません。特に、この世代への希望を。今日、私はこの箇所を提示しましたが、主の御心なら、来週 4 節を取り上げる時、それを証明したいと思います。来週もう一度これについて話しますが、このとても励ましになる約束もお伝えしたいです。

「箴言 22 章 6 節」、今日すでにこれについて触れましたが、ここに約束があって、それは原語でとても興味深い言葉の構成です。基本的にはこう語ります。繰り返しますが、これについて、主の御心なら、来週もっと話をします。

—箴言 22:6—

若者とその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、...

こんな風に言うべきではありませんが、これは彼らが 80 歳になった時、主の元に帰ると言う意味ではありません。それってあなたがもう亡くなった後ですよ。 「年を重ねたとき」 少なくとも今日これを理解する良い方法となれば良いですが、

...そうすれば、年老いても、それから離れない。

放蕩している子どもがいる人に、主からの主にある励ましの言葉を送りたいと思います。神は、あなたよりもあなたの子どもを愛しておられます。絶対に絶対に絶対に、息子さんや娘さんの事をあきらめないでください。神が何をしておられるかあなたには分かりません。

「ああでも牧師さん、失礼ながら、彼らの為に祈れば祈るほど悪くなっていくようで...」
心を失わないでください。神は、まだ彼らを見捨てておられません。神は彼らの中に働いておられます。あなたは主を待ち望み、主に信頼するとき、主の良さを見るでしょう。これが神の御言葉の約束です。このように、神があなたに約束される時、それはもう確定事項です。もう決まっています。それは、私たちが望む時期や、または私たちが望む方法や状況ではありません。私たちは、彼らがあんな事を経験しない方が良かったと思うでしょうが、しかし理解しなければなりません。繰り返しますが、神は、あなたが愛せる以上に、彼らを愛しておられます。もしかしたら、今日ここにいる誰かへの言葉かもしれませんが、神はご自分が何をしておられるかご存知です。神はあなたが知っているよりもご存知です。私たちは何が最善かを知っているつもりで、主に祈る時、こういう方向性を示す祈りとなって現れます。

「主よ、彼らが先週何をしたかご存知ですか？」主がそれをご存知ないとでも？つまり、想像してみてください。主が天で「何？！彼らが昨日何をしたかなんて、何も聞いてないよ！」

違います。木曜の夜の礼拝は「詩篇 23 篇」を学んでいます。わお～私はまだ「詩篇 23 篇」のなごりに浸っている感じです。そこには 1 つの言葉、実際 2 つの言葉があって、皆さんも良くご存知の、

「たとえ 死の陰の谷を歩むとしても」

2 つの単語、through/歩む、shadow/陰 です。まずこの through/歩む、あなたは make it through/乗り越える！！ 私が聖書の中で、大好きな言い回しは、it came to pass/過ぎ去る。

ある人が言った通り、「そのままの状態は続かない。」あなたが、その谷で留まる事はありません。谷についてですが、そこに陰があるには、光がないといけません。そうでないと陰はありません。神は、あなたが歩んでいる谷の中で、あなたと共におられます。そして神は、決してあなたを離れず、あなたを見捨てません。主はあなたといつも一緒におられ、そして、たとえ、この地上での終わりの時が来ても、神はあなたの子どもと共におられます。神は、あなたの子どもから離れません。

「でも牧師さん、あなたはあの子たちが、何に夢中になっているか知らないんですよ。私は彼らが何をしているか信じられない。」

おお～つまりあなたは、神が天で「どうしようか、これは難しいケースだな～」と考えていると言うのですか？ 違います。主にとって難しいことが何かありますか？（エレミア 32：17 参照）

繰り返しますがこれについて、主の御心なら、来週さらに話したいと思います。私が、今日の学びにこの話題を持ち出したかった理由は、聖霊によってパウロが、子どもたちについて書いていることに合致するからです。すなわち、父と母に従い、敬う事の両方について、3 つの納得する理由があります。

1 つ目。これは明らかに、当然の事に聞こえると思いますが、主に対して、シンプルに正しい事をする。それが正しい事だから、正しいから、正しいことをする。「そういう気持ちになれない。」いいえ。正しい事だからするのです。感情はあとからついて来ます。結婚についての夫と妻の御言葉の中でも、これ

について話しましたね。「私はそういう気持ちにならない。」いいえ。違います！ おお、信仰によってではなく、感情によって歩むのですか？ それをしたくないから、しないのですか？ 違います！！あなたはそれをするのです。主に対して正しい事だから。正しい事をするのは正しいのです。それを、神は祝福してくださる。それを尊んでくださる。そしてこれは、子どもに対してだけ当てはまる事ではありません。今日ここにいる、一人ひとり全ての人に当てはまります。私たちが正しい事をする時、それによって私たちは、人生に、神の祝福がもたらされます。ここで問題です。度々私たちは、不従順という縄によって、私たちの人生への神の祝福の御手を縛ってしまっています。神が、私たちが祝福したくないと思っておられるのではありません。もちろん神は私たちが祝福されたいのです。私は、何でも尋ね求めて来るのを、待っておられる愛する天の御父を想像します。神は私たちが祝福されたいのです。考えてみてください。失敗もする不完全な、この地上での両親を。それでも子どもたちを祝福したいですよね？ 私はある時、二人の息子がまだ幼かった時、デボーションの中で、私が彼らに言った事を覚えています。

「あなた達は本当にママと私が朝起き、今日どうやって子どもたちを罰せるかな？ と考えると思うのかい？」まさか。いつももっとこんな感じですよ？「さあ！子どもたちをウォーターパークに連れて行って、驚かせよう！ 彼らはウォーターパークが大好きだから！」

私たちは、自分の子どもを祝福したいのです。神は、私たちが祝福したいのです。しかし、私たちが正しい事をしたがらないので、度々神は私たちが祝福することが御出来になられません。

2つ目。神の祝福が人生に与えられるだけでなく、物事がうまくいくようになります。これは実際の約束で、パウロが引用している十戒の至る所で見られます。具体的に、十戒の5番目です。これは約束を伴った、初めの戒めだけでなく、約束を伴った唯一の戒めです。全ての戒めは「汝、してはいけない！してはいけない！してはいけない！」でも5番目の戒めにくると、

「あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。」(出エジプト記 20:12)

私がこれを暗記しているのに気づきました？ 両親が覚えさせたのです。ほら、神の御言葉が虚しく帰ってくる事はないのです。私は何年も後になって、これらを思い出しました。これは恵みがある唯一の戒めです。呼びたければ、「恵みの時、恵みの条項」と呼んでください。他のすべての戒めは、ただ「～してはいけない」と言いますが、この戒めは「もしあなたがこうすれば、神はこうしてくださる」です。あなたが父と母を敬うなら、神はあなたの人生を祝福される。神はあなたに長く楽しい人生を与える。これについて、今から話をしますが。ここで興味深いのは、、聞いてほしいのは、5番目の戒めについて、皆さんに分かち合いたい事があります。5という数字は恵みの数です。そして恵みは全てを変えます。よく聞いてください。覚えてますか？ 神がアブラムとサライに現れた時の事を。神は、あなたはもうアブラムではなく、今からアブラハムとなると仰いました。そしてもはや、サライではなくサラだと。神は、ヘブル語のアルファベット5番目の文字を取り、彼らの名前の5番目に置かれました。これを知っておいてください。名前は性質です。全てを変えました。全ての様相も変えました。これが数字の5です。学びたいなら、御言葉全体を通して見れます。こういう事に夢中になる人はいますか？ そういう人、自分がどういう者か知っている。大好きですよ～。それはすごく魅力的な学びですよ。ちなみに数字の7は、完全完成の数です。数字の8は、新しい始まりの数です。8番目の文書は、新しい規模の新しい文書、8番目の色は虹の新しい色です。8番目の日は、新しい週の初めの日。などなど。ですから、数字の5は恵みの数です。

私がこれを言う理由は、子育てをする時、私たちには恵みが必要だからです。ある人が言った事で、本のタイトルにもなった言葉です。「恵みは子育ての基礎だ」来週は、もっと適切になるでしょうけど、皆さん戻って来ないといけませんよ。来週の学びについて、すでに85回ほど紹介したと思いますけど、でも主が導いておられるなら、私が恵みの中、子育てで学んだ厳しい歩みをいくつか分かち合いたいと思います。ただただ恵みです。恵みがあります。恵みの側には、過ちもあります。

3つ目の理由です。従順は幸せで長生きする人生となる。ここには、人生は不従順のせいで、不必要に短くされることはない、という考えがあります。娘サビアに話していました。今11歳です。私はこう言いました。

「ママと私は、あなたに何かをしてはいけないと言うよね？ 私たちに従うようにあなたに要求するでしょ。私たちは、あなたの益を最優先するし、たまたまあなたより多くのことを知っている。あなたが不従順によって、不必要に傷ついたり、害を受けたりしてほしくないからだよ。」

私はいつもこの例えを使いました。本当に愚かですけど、構いません。

「私たちが、あなたに言うのは、あなたは私たちに従わねばならないよ。あなたは遊びに行って、ハマーh3の上でナイフを振り回すことはできない。」

馬鹿げていると言ったでしょ？ でもポイントはわかりますね？ 「いやだ！なぜしちやいけないの？」

「だっていいかい？ あなたに近づいてくる、やってくるけがや危険から守ろうとしているのだよ。そんなことあってはならない。これが私たちが従いなさいと要求している理由。」

多分この方法で描写できます。伴う考えは、人が戦場において、彼らを守り指揮する為の命令に従わない事で、危険に晒されるのは、彼らの命です。“言うことを聞く” “指示に従うこと” これは生死に関わります。それがここでの考え方です。幸せで長生きしたいなら、人生を不必要に縮めたくないなら、従い・敬う事です。興味深いのが、これに対して警告してる箴言があります。「箴言30:17」、不気味です。聞いて下さい。

一箴言 30:17-

自分の父を嘲り、...

呆れた顔で眼を見開く。その眼は父親を嘲笑しています。自分の父を嘲り、

...母への従順を蔑む目は、谷の鳥にえぐり取られ、鷲の子に食われる。

私たちはこれをよく使い抑止力として子どもたちに暗記させました。「言うことを聞かないとか、呆れた顔すると鳥が来てめん玉をえぐり取るよ！」と。実はこの描写は、嘲ったり、不従順な子は、親の躰を聞かないから、子どもたちがその人生を失う。再度、ここで想像できるのは、死骸です。早すぎる死、それが鳥の餌食です。それがそのまま生々しい描写です。では残りの時間、もう2~3分いただいて、「両親に従い・敬うこと」について、よく聞かれる2つの質問に対する、聖書的回答を提案したいと思います。

最初の質問、大変深刻なのが、「子どもは虐待する親に従うべきか？」

絶対的に絶対的に、いいえ！です。何があってもいいえ！絶対にいいえ！です。恐らく言わなくてもわかるでしょうけど、子どもを虐待する親は、決してよろしくありません。そして間違いなく神は、性的感覚、肉体的感覚を禁じておられますが、さらにという言葉の感覚もです。再度になりますが、4節の

「父たちよ。自分の子どもたちを怒らせてはいけません。」言葉で子どもたちを虐待してはなりません。留意すべきは、パウロは主において、限定して書いている理由です。言い換えると、子どもは、親が、神に不従順な行動をしている時は、従うべきではないということです。

2つ目の質問。「尊敬と敬意は何が違うのか？ 同義語ではないですか？」

そうとも言えません。極端な簡素化をお許しいただきたいのですが、敬意というのは与えられるもので、尊敬というのは獲得するものです。

説明しましょう。大人であっても両親と一緒に暮らしている人は親に敬意を示さなければなりません。

「はい。でも私は彼らを尊敬しないよ。」いやいや、そうじゃない！そうじゃなくて、あなたは親に敬意を示す必要があります。それが主において正しいことであり、だから神は、そのためにあなたを祝福なさいます。これはどなたかのギアを固まらせるかもしれませんが、そう、イエスの御名の下、あなたのギアを固まらせますよ。義理の父であっても、これをしなければなりません。あえて言いますと、義理の母にも。「彼らを尊敬なんてしていないよ。」違う違う！そうじゃない！敬う。あなたは彼らを敬いなさい。彼らの権限、彼らの役割、言わば彼らの立場。その為に彼らに敬意を示しなさい。あるコメンテーターがこのことを説明しています。

「私たちが父親や母親に敬意を示すことは、成人していく中で変わるかもしれないが、しかし主要部分はそのままである。大人になった子どもは、両親に従順である必要なくとも、両親に敬意を示さねばならない。」

考えていたのですが、ある人たちは、最初の4つの戒め、あなたの心と、魂と、思いと、力で、神を愛することで、あとの6つは、自分自身のように、隣人を愛することだと言いますが、いやいや、最初の5つがあなたの心と、魂と、思いと、力で、神を愛することです。理由は、私たちが、父と母に敬意を示すとき、天の御父に対してしていることになり、それによって、天の御父に敬意を示すことになるからです。それが理由です。「ルカの福音書2章51節-52節」の、従順と敬意に関する完ぺきな例えで、締めくくります。本当に魅力的な箇所です、皆さん、ぜひこの箇所全部を読むのを勧めます。12歳のイエスが宮にいて、ここに人間の姿になられた神が両親と一緒にいます。と言っても実父ではありません。地上の父ヨセフと母マリアです。彼らはイエスが見当たらないので、恐れおののきます。「どこにいったの？」そうイエスは宮で、人々に神の御言葉を教えていたのです。そこで彼らは、イエスを見つけ、これは唯一、イエスが母と父との間でトラブルった場面だったと思います。

「どこに行ったの？おかしくなったの？どうしたというの？」(2:48 参照)

もちろんイエスは愛を込めて答えます。「わたしはわたしの父の仕事をしているのです。」(2:49 参照)ヨセフは黙りました。この箇所を聞いてください。

—ルカ 2:51—

それからイエスは一緒に下って行き、ナザレに帰って両親に仕えられた。母はこれらのことをみな、心に留めておいた。

それからこうあります。最後に聞いてください。

—ルカ 2:52—

イエスは神と人とにいつくしまれ、知恵が増し加わり、背たけも伸びていった。

これ以外に、説教を締めくくるのにより良い方法は考えられません。「私たちが従順になり、敬意を示せばその結果、ますます知恵が進み、背たけも大きくなり、神と人に愛される。」

祈りましょう。天のお父様。今日のこの3つの節に感謝します。これらは成長した男女であっても、私たちの人生に適応出来ます。主よ、ありがとうございます。私たちは、私たちの天の御父としてあなたを

敬います。同時に主よ、私たちは、敬い、尊敬し、従順されると言われる者に数えられますように。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7